

第12回 JOTO CUP

第32回大阪クリテリウム in 舞洲 / 第9回大阪タイムトライアル in 舞洲

[Communique 1]

2020年8月24日

大会特別規則の改訂

新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、JCFから発出された「緊急事態宣言解除後の大会開催に向けたガイドラインについて（7月17日改定）」に述べられた「V 大会開催のガイドライン（種目別）ロード競技開催に関する留意点について」に従い、大会特別規則を以下の通り、改訂いたします。

皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

記

1. 検車について

- 最新の JCF 競技規則に則った自転車を使用すること。
- 整備は各自で責任を持って行うこと。
- JCF 登録高校生、高校生男子、高校生女子には、ギア比制限のチェックを行うことがある。
- ギア比制限は 7.93m とする。U17 の該当選手についてジュニアのギア比制限値を適用する。
- ギア比の確認はレース終了後に入賞対象者に対して行う。
- リア変速機のアジャストボルトによるギア比制限への対応も認める。
(JCF 競技規則付表 4-1 参照)

2. タイムトライアルについて

- ① 本大会は、最新の JCF 競技規則と本大会特別規則により行う。
- ② 各自スタート 6 分前までに、スタート地点に集合し、点呼を受けること。
(出走サインは実施しない。)
- ③ 検車は行わないが、目視で NG と思われるもののみ検車を実施する。
不安な方は、検車エリア内の検車台でセルフチェックし、分からない場合は、検車担当に相談すること。
- ④ 1 名ずつのタイムトライアル形式とし、TT バイク、ディスク/バトンホイール、TT ヘルメットの使用を認める。
- ⑤ ホルダー（選手を支える役員）はおかず、選手は地に片足をついた状態からスタートする。
- ⑥ スタート時間に遅れた場合はコースの特性上安全を確保する為、最後尾よりスタートとする。ただし、リザルトについてはオープン扱いとする。

- 1 -

競輪の補助事業



この事業は、競輪の補助を受けて実施します。

第12回 JOTO CUP

第32回大阪クリテリウム in 舞洲 / 第9回大阪タイムトライアル in 舞洲

3. クリテリウムについて

- ① 本大会は、最新のJCF競技規則と本大会特別規則により行う。
- ② 各カテゴリーのスタート10分前までにコース入口にて点呼を行う。
出走サインは行わない。所定の位置で待機すること。
- ③ バイク先導によるローリングスタートとする。
- ④ ラップアウト
 - エキスパート(C1)、JCF登録高校生男子の周回遅れはラップアウトとする。
ただし、該当競走成立に著しい支障を来す場合においては、この限りでない。
それ以外のカテゴリーは、周回遅れでもラップアウトにしないが、先頭選手がゴールした時点で周回遅れの選手もゴールとする。
- ⑤ ニュートラルゼーション
 - エキスパート(C1)、JCF登録高校生男子、JCF登録女子において、認められる事故（落車、パンク、自転車の重要部分の破損）に限り、コミッセールの認定により、ニュートラルゼーション2周回を与える。
 - コミッセールにニュートラルゼーションを受ける意思を伝えること。
 - 走路への復帰にあたっては、コミッセールの指示で事故前に位置していた集団に復帰すること。
 - ニュートラルゼーションを与えられた競技者は最後の3周回以降、復帰することはできない。
 - ニュートラルゼーション中に最後の3周回が始まり競技者が復帰できなかった場合、または最後の3周回以降に認められる事故にあった場合、事故時に位置していた集団の最下位の順位とし、同集団の最後尾と同タイムを与える。
 - 機材の交換は、明示するピットにおいて、各チームでコミッセールの確認の下で行なうこと。（上記3カテゴリー以外のカテゴリーについては、任意の位置で機材交換できる。）

審判長
愛場 政幸

- 2 -

競輪の補助事業



この事業は、競輪の補助を受けて実施します。